

平成26年度 決算報告

市の財政状況をお知らせします。

財務課 ☎24-8803

一緒に
見るでござる!



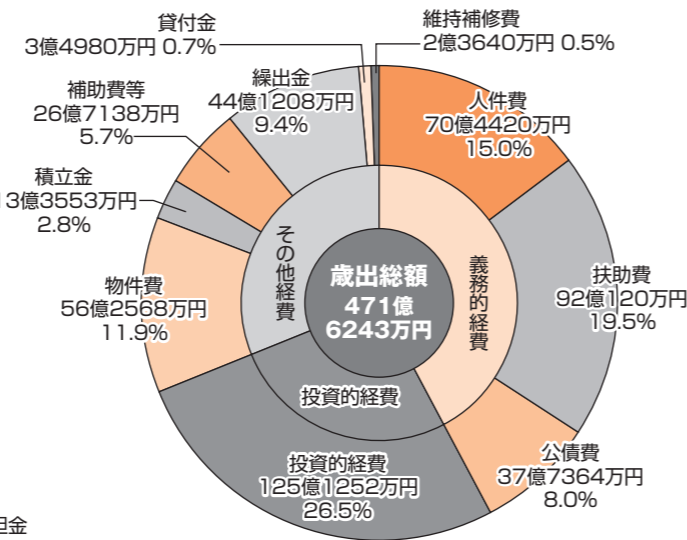
一般会計 歳入歳出の決算状況

歳入の総額は、481億9681万円で、前年度と比較して55億3419万円の増加となりました。法人市民税などの減収により、市税が6億6592万円の減となる一方、国の経済対策を受けて国庫支出金が10億6124万円増加したほか、投資的経費の財源としての市債の発行額が46億4660万円増加しました。また、経営改善に取り組んでいる競艇事業から、昨年と同額の5億円を繰り入れています。

歳出総額は471億6243万円で、前年度と比較して63億8975万円の増加となりました。

国の経済対策を受けて投資的経費が56億1579万円増加しています。また、年々増加する社会保障関連経費（扶助費）については、臨時福祉給付金などの影響により6億7379万円の増加となりました。

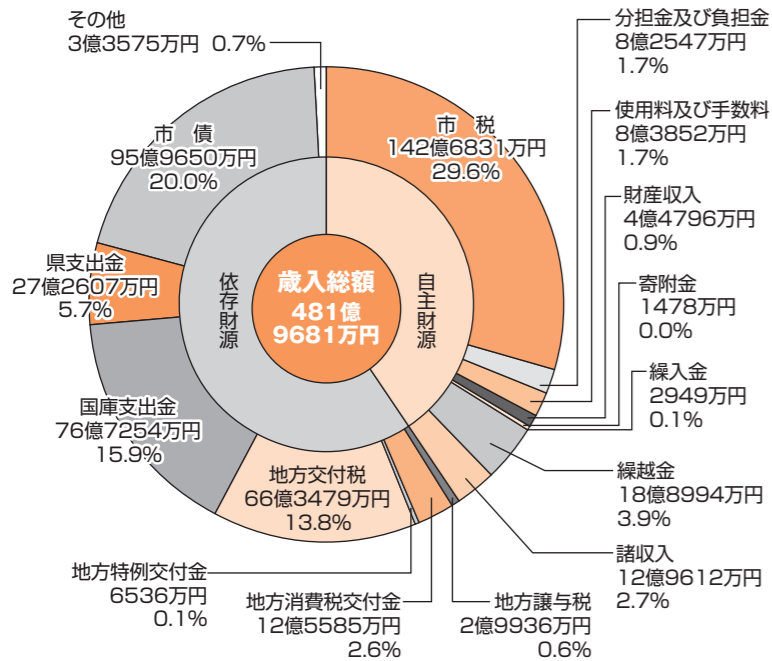
歳入歳出の差引額10億3438万円のうち、平成27年度にかけて継続する事業に要する財源9441万円を除いた9億3997万円を、平成27年度へ繰り越しています。



■平成26年度の決算を市民1人あたりに換算

| 内 訳 | 一人当たり決算額 |
|-------------------------|----------|
| 議会に要する経費(議会費) | 3260円 |
| 行政の運営経費(総務費) | 5万1094円 |
| 各種福祉事業の経費(民生費) | 15万5159円 |
| 環境や健康を守る経費(衛生費) | 2万6104円 |
| 勤労者支援に要する経費(労働費) | 1188円 |
| 農林水産業振興に要する経費(農林水産業費) | 6134円 |
| 商工業振興に要する経費(商工費) | 3859円 |
| 道路、公園整備などの経費(土木費) | 4万3704円 |
| 消防活動に要する経費(消防費) | 1万2461円 |
| 教育や文化、スポーツ振興に要する経費(教育費) | 9万 123円 |
| 台風などの災害復旧費(災害復旧費) | 127円 |
| 市債の返済経費(公債費) | 3万4199円 |
| 合 計 | 42万7412円 |

※1人当たりの経費は、平成27年4月1日現在の常住人口(110,344人)で計算しています。
※総合計画の主要な施策ごとに行政コストを算出し、ホームページに掲載していますので、あわせてご参照ください。



特別会計 歳入歳出の決算状況

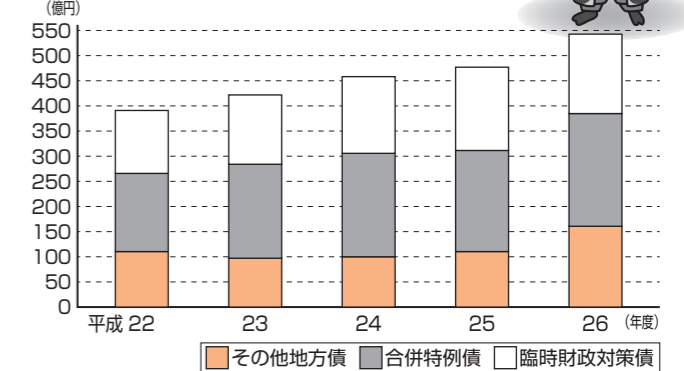
| 会計名 | 歳入総額 | 歳出総額 | 歳入歳出差引額 |
|----------------|------------|------------|----------|
| 国民健康保険特別会計 | 131億7563万円 | 131億6784万円 | 779万円 |
| 国民健康保険診療所特別会計 | 9471万円 | 9471万円 | 0万円 |
| 公共下水道特別会計 | 22億 620万円 | 21億9293万円 | 1327万円 |
| 農業集落排水特別会計 | 1億5453万円 | 1億5346万円 | 107万円 |
| 駐車場特別会計 | 1億1766万円 | 1億1766万円 | 0万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 11億9807万円 | 11億9798万円 | 9万円 |
| 介護保険特別会計 | 79億7723万円 | 77億4736万円 | 2億2987万円 |
| 介護保険サービス事業特別会計 | 8155万円 | 8155万円 | 0万円 |
| 合 計 | 250億 558万円 | 247億5349万円 | 2億5209万円 |



市債 借入金の状況

平成26年度末の一般会計の市債残高は536億4734万円で、前年度と比較して63億2673万円増加しました(グラフ1参照)。これは、教育施設や保育所の耐震化などの「安全安心まちづくり」事業のための借入れや、地方交付税の代替財源である臨時財政対策債の発行によるものです。これらの地方債は、返済費用が地方交付税として国から措置され、財政負担が軽減されるものが多く、市ではこのような有利な地方債を活用し、まちづくりを進めています。

■グラフ1：市債残高(一般会計)の推移

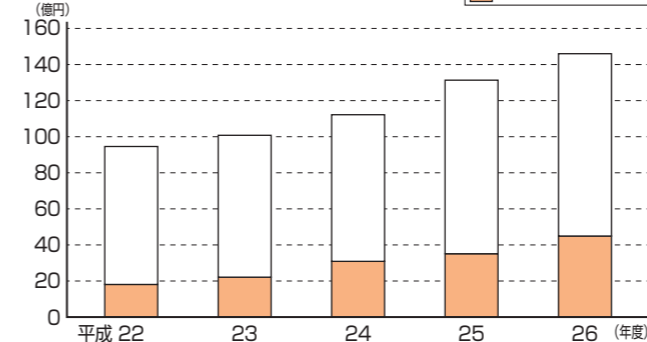


財産 平成26年度末現在の状況

市有財産のうち、市の貯金にあたる基金は、グラフ2のとおり推移しています。

今後は、安全安心のまちづくりに活用した合併特例債などの償還が本格化するとともに、社会保障関連経費も引き続き増加していくことが予想されることから、

■グラフ2：基金残高の推移



市では、こうした状況に対応するため、財政調整基金など、将来的に必要な財源を積み立てています。

■市有財産などの現況(平成26年度末現在)

| 種 別 | 保有量 | 備 考 |
|----------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 土 地 (うち共有林) | 6,554,063㎡ (1,030,444㎡) | 庁舎、学校、保育所、公営住宅、公園のほか山林など |
| 建 物 | 512,944㎡ | |
| 出資による権利 | 13億2472万円 | 水道事業会計や中讃広域行政事務組合への出資金など |
| 債 権 | 6億4517万円 | 市民税特別徴収分、地域総合整備資金貸付金など |
| 基 金 | 145億6372万円 | 公共施設建設や財源調整など、特定目的のために設けられた市の貯金 |
| 有 価 証 券 | 2億6867万円 | (株)香川県中部流通センターや中讃ケーブルビジョン(株)の株券など |

◎健全化判断比率の状況

健全化判断比率は、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために国が定めている指標です。この指標が国の定めた基準を上回った場合、「財政健全

化計画」や「財政再生計画」を策定し、財政再建に取り組まなければなりません。平成26年度決算に基づく市の各指標は、いずれも国が示す基準を下回っており、財政状況は引き続き良好であるといえます。

■健全化判断比率

| 指標 | 区分 | 丸亀市の状況 | | 国が示す基準 | |
|-------------|----|--------|--------|--------|------|
| | | 平成26年度 | 平成25年度 | 早期健全化 | 財政再生 |
| 実質赤字比率 ※1 | | — | — | 12.11 | 20.0 |
| 連結実質赤字比率 ※2 | | — | — | 17.11 | 30.0 |
| 実質公債費比率 ※3 | | 4.1 | 4.7 | 25.0 | 35.0 |
| 将来負担比率 ※4 | | 60.2 | 44.5 | 350.0 | |

用語の説明
 ※1. 実質赤字比率：一般会計などの赤字の程度を指標化したもの(黒字の場合は「—」)
 ※2. 連結実質赤字比率：市の全会計の収支を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化したもの(黒字の場合は「—」)
 ※3. 実質公債費比率：一般会計などが負担する市債の元利償還金やそれに準じる負担等が市税等の標準財政収入額に占める大きさを指標化したもの
 ※4. 将来負担比率：一般会計などが将来負担すべき実質的な負債がどの程度あるのかを指標化したもの

